

第1章 調査の概要

1.1 調査目的

本調査は、横浜市民及び横浜市内に所在する事業所を対象に、廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づき定めた「ヨコハマ3R夢プラン（一般廃棄物処理基本計画）」についての意識調査を行い、その実態や傾向を把握し、今後の施策検討のための基礎資料とすることを目的に実施した。

1.2 調査方法

- (1) 調査対象：①横浜市内に在住している20歳以上の男女
②横浜市内に所在する事業所
- (2) サンプル数：①3,000人（その内、外国籍68人）
②1,000事業所
- (3) 抽出方法：無作為抽出
- (4) 調査方法：郵送配布、郵送回収による無記名調査
- (5) 調査期間：調査票の発送日 平成28年12月9日
調査票の回収期間 平成28年12月9日～平成28年12月29日
- (6) 調査実施機関：株式会社アクス

1.3 回収結果

調査対象	サンプル数	未着数	有効回答数	有効回収率
市民	3,000	27	1,473	49.5%
事業所	1,000	19	369	37.6%
合計	4,000	46	1,842	

※未着数とは、宛先不明等で戻ってきた調査票を指す

※有効回収率は「有効回答数／（サンプル数－未着数）÷100」とする

1.4 調査結果の表し方

- (1) 図表中のnは該当設問での回答者数を表す。設問によっては、回答対象が限られるため有効回答数にならない場合がある。その場合は、回答者数をNで表す。
- (2) 百分率はn（N）を100.0%として算出し、少数第2位を四捨五入して少数第1位まで示している。このため、百分率の合計が100.0%に満たない場合や、上回る場合がある。
- (3) 複数回答の設問では、百分率の合計が100.0%を上回る場合がある。
- (4) 本文や図表中の選択肢表記では、語句を短縮・簡略化している場合がある。
- (5) 比率の計算において、「無回答・無効票」は母数に含めるが、回答項目としては表示しないものとする。

(6) この調査の標本誤差は、およそ下記の表の通りである。また、標本誤差は次の式によって得られる。

$$\text{標本誤差} = \pm 2 \sqrt{2 \times \frac{N-n}{N-1} \times \frac{P(1-P)}{n}}$$

N = 母集団
 n = 比率算出の基数 (回答者数)
 P = 回答比率 (%)

統計学上よく使われる信頼度は95% (許容できる誤差の範囲が5%) であり、本アンケート調査の標本誤差も信頼度95%で計算する。

【市民】各回答比率における標本誤差早見表

回答比率(P) 基数(n)	10%または 90%前後	20%または 80%前後	30%または 70%前後	40%または 60%前後	50%前後
1,473	2.2%	2.9%	3.4%	3.6%	3.7%
1,200	2.4%	3.3%	3.7%	4.0%	4.1%
1,000	2.7%	3.6%	4.1%	4.4%	4.5%
800	3.0%	4.0%	4.6%	4.9%	5.0%

※母集団は横浜市住民基本台帳20歳以上人口3,086,690である(平成28年8月)

有効回答数(1,473)を100%とする比率で、ある質問の回答が50%の時、実際の回答は、46.3%~53.7%の間にあると考えてよい。

【事業所】各回答比率における標本誤差早見表

回答比率(P) 基数(n)	10%または 90%前後	20%または 80%前後	30%または 70%前後	40%または 60%前後	50%前後
369	4.4%	5.9%	6.7%	7.2%	7.3%
300	4.9%	6.5%	7.5%	8.0%	8.1%
250	5.4%	7.1%	8.2%	8.7%	8.9%
200	6.0%	8.0%	9.2%	9.8%	10.0%

※母集団は横浜市に所在するNTTタウンページ登録事業所80,353である(平成28年9月)

有効回答数(369)を100%とする比率で、ある質問の回答が50%の時、実際の回答は、42.7%~57.3%の間にあると考えてよい。